

未来を拓く 多様性が ダイバーシティ

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
『女性研究者研究活動支援事業(拠点型)』シンポジウム

テーマ

女性の活躍とダイバーシティ

入場無料
託児有り
要予約

とき

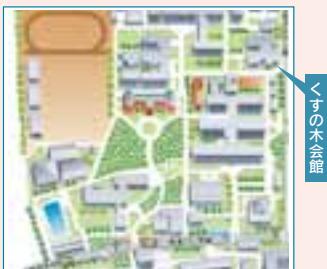
平成26年12月4日(木)13:30-17:00

ところ

熊本大学

「くすの木会館」レセプションルーム

(熊本市中央区黒髪2丁目 黒髪北キャンパス内)



お問い合わせ/参加・託児のお申し込み

申込期限 11月21日(金)

熊本大学 男女共同参画推進室

「女性研究者研究活動支援事業(拠点型)」事務室

TEL/FAX: 096-342-3976

E-mail: kyoten@kumamoto-u.ac.jp

電話・ファックス・Eメールでお申ください。※お申込みの際は、氏名・所属・連絡先をお知らせ下さい。

※当日の参加もできますが、事前申込みにご協力ください。

※託児(無料)ご希望の方は、事前申込みが必要となります。

熊本大学は“共に生きる環境づくり”に積極的に取組んでいます

熊本大学は、平成18年度から全学的な男女共同参画推進を図っています。この目的を達成するため、本学は、全職員、学生等の意識改革に努め、平成19年3月26日に策定した「熊本大学男女共同参画推進基本計画」の実現に向け推進を図ります。

特別講演Ⅰ

「キャリアとライフ～ダイバーシティの視点から～」



立教大学理学部化学科 教授

大山 秀子氏

主人の仕事の都合でアメリカに15年間滞在し、日米の様々な研究機関で研究を続けてきました。海外で出産・子育てを経験しながら、できるだけ家族の生活を第一に考え、その中で可能なペースで仕事を続けてきました。このような私の絶えず曲折の道のりから、「チャレンジすることで可能性は生まれ、意志があるところには道が自ずと開かれる」こと、そして、家族の状況で自分のキャリアを第一にできない場合があったとしても、時間をかけてコツコツと積み重ねていきさえすれば、必ず「塵も積もれば山となる」こと、そして「支えてくださる人がどこかに必ずいる」ことをお伝えしたいです。

特別講演Ⅱ

「ダイバーシティが日本を救う！～多様な人材の活用を～」



熊本県商工観光労働部商工労働局長

宮尾千加子氏

人が好きで、基本的に働くことが好き。熊本が好き。
人と関わる仕事やチームでやり遂げる仕事にやりがいを感じる。
仕事をするということは、もちろん嫌な時も辛い時もあるが、自分にとっては空気のようなもの。
人生、何一つ無駄なものはないと思っており、「仕事か家庭か」、ではなく「仕事も家庭も」人生を豊かにしてくれると思ってきた。
出産や子育て、介護などに当たっては、完璧をめざさず、その時々の一番大切なことに心を注ぎ、あとは手抜きもいっぱい！
性差、経歴、年齢、国籍、障がいの有無等、様々な「違い」を積極的に活かすダイバーシティ（多様性）の考えが言われるようになって久しいが、意思決定には多様性が必要。組織を強くすると最近、特に実感している。

パネリスト

**熊本学園大学長
幸田 亮一**

1954年生まれ。美里町出身。長崎大学経済学部卒 - 京都大学大学院経済学研究科修士課程修了 - 同博士後期課程退学、京都大学博士（経済学）授与。1996年から熊本学園大学商学部教授。経営学科長や産業経営研究所長、商学部長、大学院経営学研究科長を歴任、2014年8月に学長就任。専門は経営史。12年から熊本国際観光コンベンション協会理事。

**熊本保健科学大学長
小野 友道**

1940年生まれ。山口県出身。皮膚科医。1966年熊本大学医学部卒業、1979年熊本大学医学部皮膚科助教授、1991年同教授。2002年同医学部長、04年熊本大学理事・副学長、中国協和医科大学名誉教授、2006年熊本大学顧問・名誉教授（現在に至る）、熊本保健科学大学副学長、2007年より熊本保健科学大学学長に就任。

**崇城大学長
中山 峰男**

1947年生まれ。1971年に熊本大学・工学部生産機械科を卒業して積水化学工業㈱に入社。その後9年間の同社勤務を経て、1980年学校法人「君が淵学園」に入職。法人局長などを経て2003年に崇城大学長および理事長に就任。趣味は司馬遼太郎や井上靖といった歴史小説の読書とゴルフ。

PROGRAM

13:30	開会挨拶	谷口 功（熊本大学長）
	来賓挨拶	文部科学省（予定）
		中山 峰男（崇城大学長、大学コンソーシアム熊本理事）
14:00	特別講演Ⅰ	「キャリアとライフ～ダイバーシティの視点から～」 講師：大山 秀子氏（立教大学理学部化学科 教授）
14:40	特別講演Ⅱ	「ダイバーシティが日本を救う！～多様な人材の活用を～」 講師：宮尾千加子氏（熊本県商工観光労働部商工労働局長）
15:20	休憩	
15:30	パネルディスカッション	「大学におけるダイバーシティを考える」 パネリスト：幸田 亮一（熊本学園大学長） 小野 友道（熊本保健科学大学長） 中山 峰男（崇城大学長） 中嶋 卓雄（東海大学九州キャンパス 学長補佐） 山縣 ゆり子（熊本大学 副学長） コメントーター：大山 秀子氏（立教大学理学部化学科教授） 宮尾千加子氏（熊本県商工観光労働部商工労働局長） コーディネーター：河村 洋子（熊本大学男女共同参画推進コーディネーター）
16:50	閉会挨拶	石原 義光（熊本保健科学大学 学長補佐、大学コンソーシアム熊本 女性研究者支援WG座長）

東海大学九州キャンパス

学長補佐

中嶋 卓雄

**熊本大学 副学長
山縣 ゆり子**

大阪大学薬学部卒業、同大学院薬学研究科（修士・博士課程）修了。同大学薬学部助手を経て1998年に助教授。2001年熊本大学大学院薬学研究科教授、薬学教育部副教育長を経て2013年より女性初の熊本大学副学長（男女共同参画担当）。1989年から1年間カリフォルニア大学バークレー校で在外研究（家族5人で渡米）。専門はタンパク質の立体構造研究。

参加・託児申込書 申込期限 11月21日（金） FAXにてお申込みの際は、このまま切り取らずに送信してください。

氏名	所属	連絡先	託児希望
フリガナ		TEL E-mail	
フリガナ		TEL E-mail	

託児希望の方（無料）※年齢3ヶ月以上、託児時間12:30～17:30

お子様の氏名	性別	年齢	留意点 ※おむつ、ミルク、その他必要な物は各自持参してください
フリガナ			

電話・ファックス・Eメールでお申し込み下さい。

※当日の参加も出来ますが、事前申込にご協力ください。

**TEL・FAX:096-342-3976 熊本大学 男女共同参画推進室
E-mail:kyoten@kumamoto-u.ac.jp**

「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）」事務室

